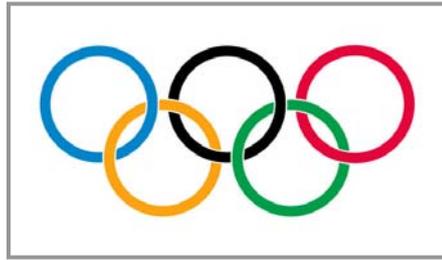


MISt-X02 オリンピックの五色の輪

オリンピックのマークってこんなの →



日本オリンピック委員会の公式サイトによるこのマークの説明は以下の通りです

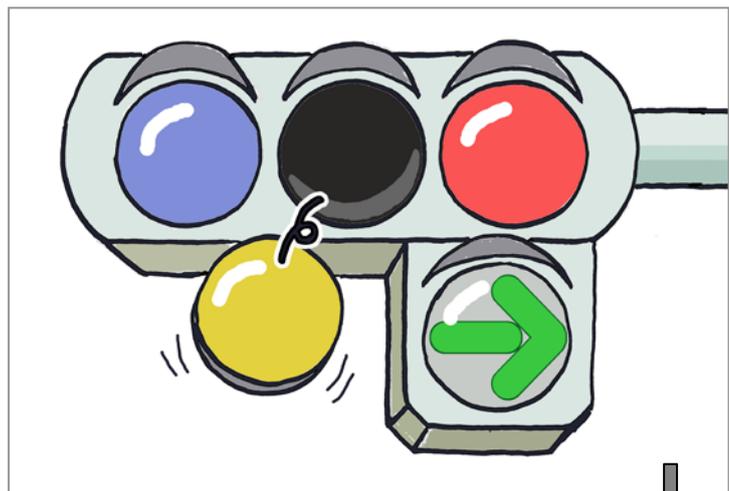
「オリンピックマークにはどんな意味があるの？」

オリンピックマークは正式には『オリンピック・シンボル』といい、単色または5色（左から青・黄・黒・緑・赤）の輪を鎖状に組み合わせたものです。オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタン男爵（フランス）が白地にこの5色の輪を並べた旗を考案、1914年パリでIOC創立20周年記念式典が行われた際にこれを公表したのが始めです。

5色の輪は世界5大陸（ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニア）とその相互の結合、連帯を意味していますが、何色が何大陸をさしている、ということはありません。単色の輪の場合も意味するものは5色のものと変わりありません。

JOC(財団法人日本オリンピック委員会)公式サイト「オリンピック質問箱」のコーナー より引用
<http://www.joc.or.jp/olympic/qa/basic.html>

そしてある日、あてもなく外に出て近所をうろついているとき、偶然にも信号機の故障現場に遭遇しました。
 全ての灯火が点灯し、黄色の部分が見えなくなった様子でした。
 そのときの状況はこんな感じ →
 あ！ オリンピックカラーが見えた！ という貴重な瞬間でした。

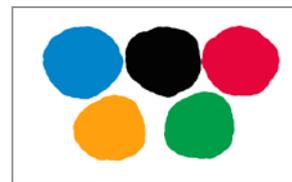


ポイント

- ① 日本の横型の信号機は、左から青・黄・赤の配列である
- ② 黄色は、どちらかといえば左下の方へ落ちていた
- ③ 黄色が落ちたらその跡は黒かった
- ④ 緑色の矢印は、右下のほうに付いていた

つまり、左から順に（上→下→上→下→上）見ていくと、青・黄・黒・緑・赤だったのだ。それをドーナツ状にして鎖のように絡めると、あらよつと、オリンピック五輪の出来上がり！

尚、左側の3つの輪は、『**青い空** - **金色(黄色)のベル** - **黒い炭**』と考えた時、『空-ベル-炭』、『くう-べる-たん』、すなわちオリンピック創始者の「クーベルタン男爵」となるのだ。 (残りの緑と赤は関連付けられず... 残念)



追加情報：信号機の「青」は世界的に緑色ですが、緑色と赤色の識別が困難な色弱者に配慮し、国際的に決められた色調から逸脱しない範囲で、より青色に近づけているようです。 っていうけど、やっぱり緑色に見える。